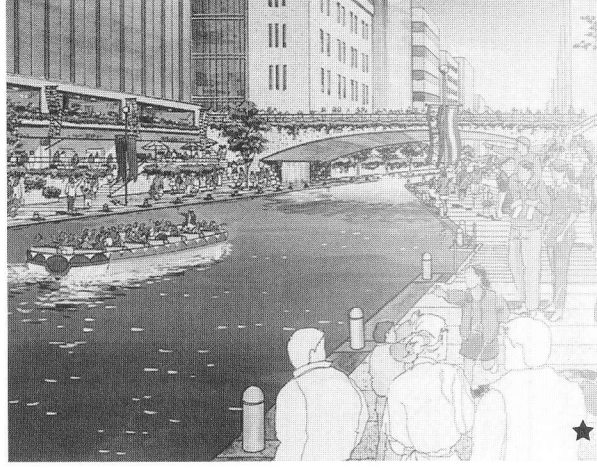


松川の夢を現実に

国土交通省北陸地方整備局
富山工事事務所所長
久保田勝さん



人々に賑わう河川再生事業の整備イメージパース

★ 人々の集い賑わう川

中村 富山は神通川から誕生した街で、「水の都」として発展してきました。その名残りの松川をなんとか昔のように美しい川にやみがえらせれないかと活動しているんですよ。

久保田 なりますよ。松川といったら富山市を代表する川でしょう。横に富山城や県庁、市役所があり、街中を遊覧船が通っている。こんな街、全国的にもめずらしい。市民や観光客もたくさん訪れているし、美しい

川にしなかつたらはずかしい。中村 松川は県都・富山のシンボルです。この川が美しく変わると、県下中に大きな波紋となって広がっていくでしょうね。

久保田 そうですよ。まん中から変えていく。「松川を美しくする会」ではどんな計画をもっているの？

中村 ええ、アメリカのベニスをめざして成功した、テキサス州のサンアントニオをお手本に、松川を美しく再生して、かつての賑わいを取り戻せないか、と思っているんです。

久保田 いいですね。国も、川の再生を大きなテーマにかかげているんですよ。沿川の建築物と一体となった水辺のテラス・遊歩道等を整備することにより、

“人々の集い賑わう川”
“街に潤いと安らぎを与える川”
“街のシンボルとしての川”に再生しようと、平成七年に「河川再生事

久保田 やる気ですよ。これからはやる気のある自治体と、そうでない自治体はどんどん差がついていくでしょうね。

中村 富山県は「川の王国」、富山市は「水の都」といつてゐるんですが、他県にお株をうばわれないように頑張らなくちゃ!

久保田 河川を再生して、人々の集い賑わう川をつくりたい、という自治体を、国が予算面でもバックアップしようといっているんです。追い風がふいているんですよ。これを利用しないではいけませんね!

中村 松川・いたち川を名実共に街のシンボルとしての川に再生するため、これからも応援してください。

久保田 やる気があるところ、「道は開ける」ですね。⑤



★ やる気が街を変える

久保田 できますよ。県か市がさっさいいった手続きさえとればなんぼで

業」を創設、やる気のある自治体をバックアップしてしますので、おおいに利用して下さい。全体の事業費が10億円以上であること。事業主体は県か市であることなど条件がついていますが、「河川再生計画」を申請されて、河川局長が認定すれば、国から事業費の1/3の補助を受けられます。

中村 実際、どれぐらい事業化されていますか。

久保田 ほとんど都道府県が事業主体です。十一年度は15河川で、十二年度は13河川で実施しています。

中村 すごいですね。北陸では？

久保田 新潟県だけです。

中村 この事業は松川、いたち川で実現可能ですか？

も。よく河川法をひっぱり出してできないという行政マンがいるけど、河川法そんなことやるなっていい。ない。(笑) あとはもうやる気だけ。やろうと思わなきゃ絶対できない。

中村 やる気だけ!

久保田 そう。計画を立てて、申請すればよい。安全かどうかのチェックは、本省のほうでもちゃんとやってくれる。安全がちゃんと確保されていけば、河川局長が認定してくれる。

中村 なるほど。

久保田 大阪府の道頓堀川(一級河川)なんか、平成七年着工、平成三十六年完了になっている。三十年近くかかる事業を着々と進めている。

中村 すごいですね。整備イメージのパースを見ると川が生まれ変わっていますね。

久保田 十年、二十年かかるのもざらですよ。しっかりした自治体は長期計画を立て着実に実行している。中村 まさに都市間競争ですね。